

スボレキサント Suvorexant

●ベルソムラ(MSD)

錠：15mg(楕円形),20mg(円形).

[特] a.覚醒維持作用の

オレキシンの拮抗薬→睡眠.

b.反跳性不眠,退薬兆候は低い.
筋弛緩作用による転倒も少ない.

[効]不眠症

但し,二次性不眠症に未承認.

他の睡眠薬との併用は未承認.

[用]1 日1 回20mm,高齢には15mmを
就寝直前に内服.

a.食後服用は避ける

(血中濃度ピークが1時間遅延).

b.途中起床し活動する場合は用いない.

[禁] 1.車の運転,危険作業は禁.

2.漫然投与しない.

3.鎮静系睡眠薬からの突然切替は禁
→反跳性不眠,退薬症状.

[患] 1.妊婦には有益性と安全性を判断.

2.本剤投与時は授乳を中止.

[体内動態]ピークは1.5時間,

半減期は10時間.

[慎] 1.ナルコレプシー,カタブレキシシー
(オレキシン欠乏)→症状悪化.

2.高齢者

3.重度の肝機能障害(血中濃度上昇)

4.重度の呼吸機能障害(安全性不明).

5.脳の器質的障害(作用強く現れる).

[併]主にCYP3Aで,一部CYP2C19で代謝.

A.禁：CYP3Aの強い阻害作用：

イトラコナゾール,クラリスロマイシン,
リトナビル,サキナビル,
ネルフィナビル,インジナビル,
テラプレビル,ボリコナゾール,
で本剤の血中濃度上昇→本剤の作
用を著しく増強.

B.慎：a.飲酒.

b.中枢神経抑制剤(フェノチアジン類,
バルビツール類等)で中枢抑制作用増.

c.CYP3A阻害作用薬(ジルチアゼム,
ペラバミル,フルコナゾール等)で
傾眠,疲労等増強.

d.CYP3Aへの強い誘導薬(リファンピ
シン,カルバマゼピン,フェニトイン
等)で血中濃度低下→作用減弱.

e.P糖タンパク質阻害でジゴキシンの
血漿中濃度上昇.

[副 20%]D. 疲労,傾眠,頭痛,浮動性め
まい,睡眠時麻痺,悪夢,入眠時幻覚,睡
眠時随伴症,夢遊症,傾眠時幻覚.